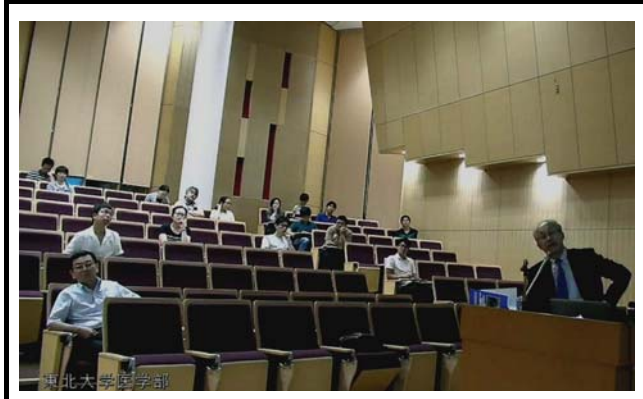


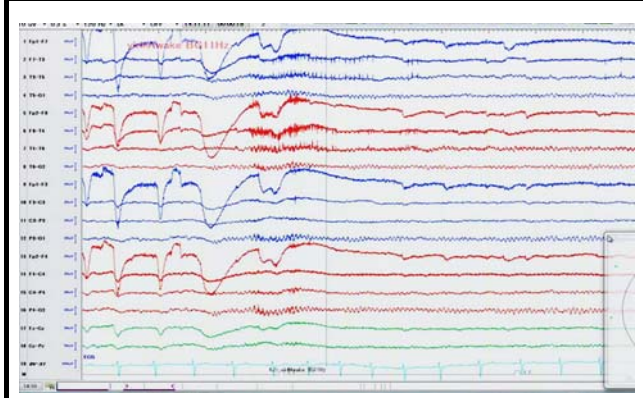
<p>【イベント名】 遠隔てんかん症例検討会</p>	<p>【概要】 東北大学大学院医学系研究科「学際領域ゼミ」において遠隔てんかん症例検討会が行われた。てんかん診療における遠隔医療の重要性は、容易なアクセス、医療者教育、コンサルタントに集約される。てんかん専門医にアクセスできない過疎地患者において有用なツールである。被災地である東北・熊本両大学の参加は象徴的であった。ビデオ脳波モニターリング画像を供覧しながらの検討会是非専門医や非医療従事者にとっても有用であった。</p>
<p>【期日】2016.09.06</p>	
<p>【会場】 東北大学，市立釧路総合病院，北海道大学，札幌医科大学，気仙沼市立病院，筑波大学，大芝医院，九州大学病院，熊本大学（すべて日本）</p>	



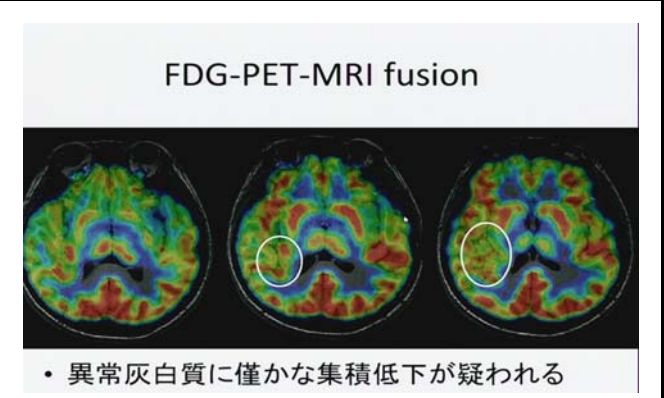
東北大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



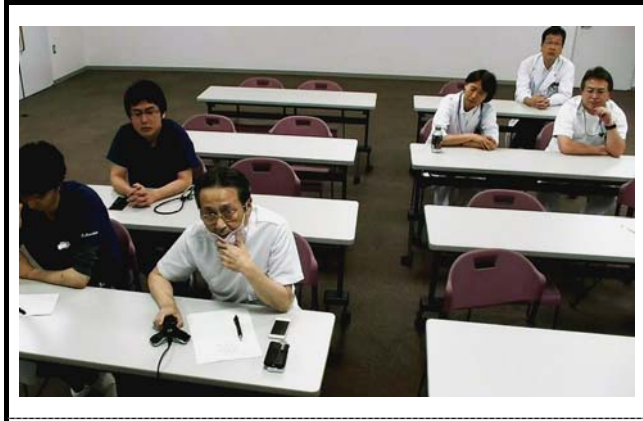
モニターに表示される接続施設とスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された脳波のスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示されたMRI画像。
撮影場所：九州大学病院



市立釧路総合病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



熊本大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院